

めあて 学習した漢字を読んだり書いたりできるようにしよう。

二 次 の 線 部 の 漢 字 の 正 し い 読 み 方 を、
ひらがなで書いてねいに書きましよう。

1 容 器 に 入 れ る。

2 薬 が 効 く。

3 図 書 館 を 建 築 す る。

4 車 を 移 動 さ せ る。

5 アニメに興味がある。

三 次 の 線 部 の カ タ カ ナ を、漢 字 で
書いてねいに書きましよう。

1 自 分 の セ キ に 着 く。

2 鳥 が 空 を ト ぶ。

3 ケ ッ カ を 知 る。

4 家 で リ ョ ウ リ す る。

5 花 を カ ン サ ツ す る。

■ 正答

二 1 ようき 2 き(く) 3 けんちく 4 いどう 5 きようみ

三 1 席 2 飛(ぶ) 3 結果 4 料理 5 観察

取り組んでみよう!

■ 次の——線部の漢字の正しい読み方を、ひらがなで書きましょう。

1 体を反らす。

[]

■ 次の——線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましょう。

3 ルールをセツメイする。

[]

2 子どもを養う。

[]

4 ドリヨクを続ける。

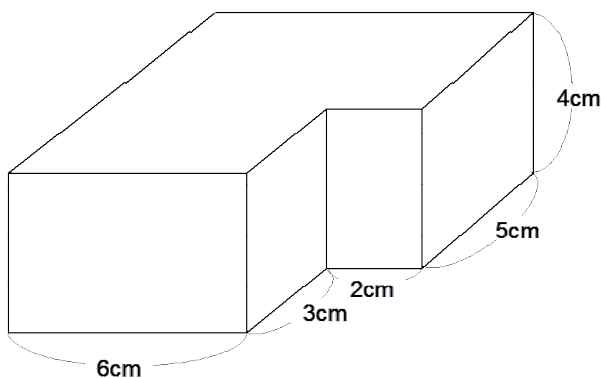
[]

答え

4 寝 2 (い) びん 2 (あ) せ

1 3.6 mで108円のひもがあります。このひも1 mのねだんを求めましょう。

2 次の立体の体積を求める式を2通りつくりましょう。
(答えは求めなくていいです。)



3 ÷ 0.7の商の大きさについて考えます。には0でない数が入ります。下の1から3までの中から、正しいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

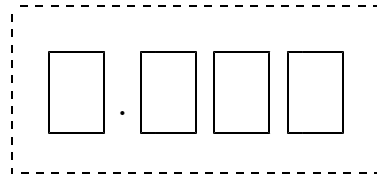
1 ÷ 0.7の商は、と同じになる。

2 ÷ 0.7の商は、より小さくなる。

3 ÷ 0.7の商は、より大きくなる。

※次のページにも、問題があります。

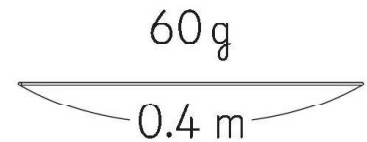
4 1、4、5、9のカードを1まいずつ使い、下の□にあてはめて小数をつくりまします。



(1) つくれる数のうち、いちばん大きい数をつくりまします。

(2) つくれる数のうち、5にいちばん近い数をつくりまします。

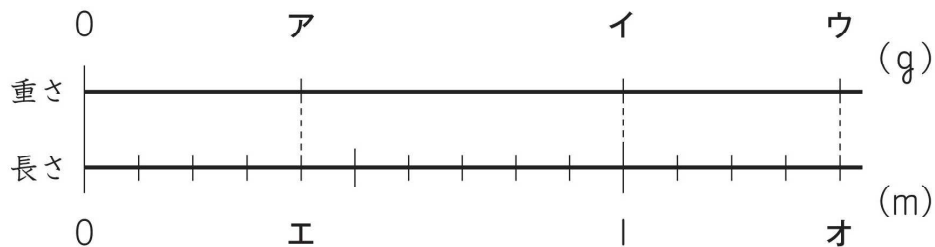
5 0.4 mの重さが60 gの針金はりかねがあります。この針金について、次の問題に答えまします。



(1) 針金 1 mの重さが何 gになるかを考えまします。

1 mの重さを□ gとして、針金の長さ長さと重さ重さの関係を下の図に表しまします。針金 0.4 mの「0.4」、0.4 mの重さ 60 gの「60」、1 mの重さ□ gの「□」のそれぞれの場所は、下の図のどこになりますか。

アからオまでの中から、あてはまるものを1つずつ選んで、その記号を書きまします。



0.4 の場所	60 の場所	□ の場所
---------	--------	-------

(0.4、60、□のすべてできて正解)

(2) 針金 1 mの重さを求める式を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きまします。

- 1 $60 + 0.6$ 2 60×0.4
 3 $60 \div 0.4$ 4 $0.4 \div 60$

〔算数〕小5 組 番 氏名

1

30円

言葉の式（1mのねだん）×（長さ）＝（代金）を使って考えると、（代金）÷（長さ）＝（1mのねだん）なので、 $108 \div 3.6$ で求めることができます。

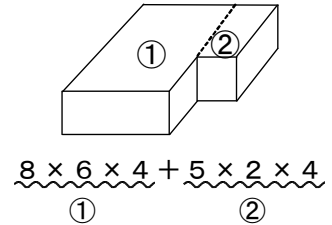
2

（解答例1）

$$8 \times 6 \times 4 + 5 \times 2 \times 4$$

または

$$5 \times 2 \times 4 + 8 \times 6 \times 4$$

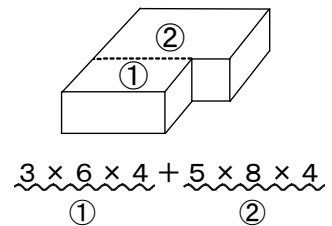


（解答例2）

$$3 \times 6 \times 4 + 5 \times 8 \times 4$$

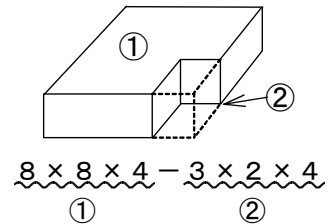
または

$$5 \times 8 \times 4 + 3 \times 6 \times 4$$



（解答例3）

$$8 \times 8 \times 4 - 3 \times 2 \times 4$$



3

3

ある数を1より小さい数で割ると、商はある数より大きくなります。また、ある数を1より大きい数で割ると、商はある数より小さくなります。

4

(1)

9.541

(2)

4.951

「4.951」と5との差は0.049、「5.149」と5との差は0.149なので、5にいちばん近い数は、「4.951」になります。

5

(1)

0.4 の場所 エ	60 の場所 ア	□ の場所 イ
--------------	-------------	------------

（0.4、60、□のすべてできて正解）

(2)

3

問題場面を図や数直線などに表すことは、問題を解決する上で大切です。図や数直線などに表すことで、数量の対応や大小を捉えることができます。